

日本学術会議、国際交流基金、ベルリン日独センター3者主催

日独シンポジウム

ダイバーシティが創る卓越性

～学術界における女性・若手研究者の進出～

開催日： 2015年9月4日（金） 10:00～18:00

会場： 日本学術会議（乃木坂）1階 大講堂

<シンポジウム趣旨>

男女・年齢を問わず、優れた人材が活躍する機会を豊富に得られることが、その国の未来を切り開き団体・企業の業績も向上させる、誰もがそう思っているはずです。実際に、能力と意欲に富む女性の積極的登用を求める声が、政治・経済・学術研究その他の分野で一層高まっています。にもかかわらず、各団体・企業で幹部ポストを占める女性の割合は、日本・ドイツともそれほど上昇しておらず、学術界で言えば、女性や若手の研究者が安定したポストを得ることはむしろ困難になっています。

女性あるいは若手の研究者の力をどのように生かせるか、そのために日独の両国は女性及び若手の研究者が活躍できる環境をいかに整えるべきか？研究者を育む土壌としての大学の今後の経営を考える上で、性別にとどまらず、国籍、年齢、障害の有無を越えた多様性（ダイバーシティ）の実現は、国際競争力と発信力を高め、今後の知的交流を進める上で、最も重要なテーマになるでしょう。

<シンポジウム概要>

本シンポジウムでは、①日独若手研究者による意見交換会、そこでの発言を踏まえた上で、②大学経営や大学における男女共同参画の推進に関わってきた研究者・有識者による討論を中心とした公開シンポジウム、この2つを行います。

2015年9月4日(金)

10.00-12.00 日独の若手研究者による意見交換 ◆英語による直接討論

10:00 ベルリン日独センター フリーデリケ・ボッセ事務総長による挨拶

10:10 日独若手研究者の意見交換

12:30～ 公開シンポジウム受付開始

13.00-18.10 公開シンポジウム「ダイバーシティが創る卓越性～学術界における女性・若手研究者の進出～」◆日独同時通訳

<各主催者挨拶>

13:00 日本学術会議代表(向井千秋 副会長)

13:10 ベルリン日独センター代表(フリーデリケ・ボッセ 事務総長)

13:20 - 13:50 シンポジウム趣旨(日独双方の立場から報告)

13:20 ゲジーネ・フォリヤンティ・ヨースト (マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルグ校教授)

13:35 大沢真理 (東京大学社会科学研究所所長・教授)

13:50 - 14:55 セッション1: 「若手研究者はこう考える」

13:50 ステファニー・ポーシェ (European University Viadrina Frankfurt / Oder)

14:05 狩野光伸 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)

14:25 コメント及び質疑応答

【ファシリテーター: ゲジーネ・フォリヤンティ・ヨースト教授 (マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルグ校教授)

14:55～15:10 休憩(延長した場合の調整分を含む)

15:10 - 16:45 セッション2: 「大学経営におけるダイバーシティ」

各パネリストより 15 分ずつ発表（順不同）、その後は5名でラウンド・テーブルによる討論会

- ① 江原由美子（首都大学東京教授、首都大学東京ダイバーシティ推進室・前室長）
- ② 有本建男（政策研究大学院大学教授、元 文部科学省科学技術・学術政策局長）
- ③ エヴァ・リヒヴァイン（ドイツ研究振興協会）
- ④ エリカ・コーテ（フリードリヒ・シラー大学イエーナ校教授）
- ⑤ サンドラ・ボウフェス（ライプニッツ社会科学研究所研究員）

【ファシリテーター： 大沢真理（東京大学社会科学研究所所長、教授）】

16:45 - 17:45 全体討論会「女性・若者の活躍を進める」

- ① 江原由美子（首都大学東京教授 首都大学東京ダイバーシティ推進室・前室長）
- ② 有本建男（政策研究大学院大学教授、元 文部科学省科学技術・学術政策局長）
- ③ 大沢真理（東京大学社会科学研究所所長、教授）
- ④ ゲジーネ・フォリヤンティ・ヨースト（マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルグ校教授）
- ⑤ エリカ・コーテ（フリードリヒ・シラー大学イエーナ校教授）
- ⑥ ウルリケ・エンデスフェルダー（マックスプランク研究所研究員）

【ファシリテーター： 廣渡清吾（専修大学教授、東京大学名誉教授）】

17:45～18:00 コメント・質疑応答

18:00 閉会の挨拶

茶野純一（国際交流基金 日本研究・知的交流部 部長）

以上